第12回全国シンポジウム

地域推薦枠医学生の卒前・卒後教育をどうするか？
～地域枠制度がもたらしたもの～

2020年2月14日（金）
於 ： 一橋大学一橋講堂　（東京都千代田区一ツ橋）

今年で第12回となります東京での全国シンポジウムを開催させていただきました。

今回のテーマは「地域推薦枠医学生の卒前・卒後教育をどうするか？」～地域枠制度がもたらしたもの～ということで、各大学・医療機関、行政、一般など全国から113名の方々にご参加いただきました。

2010年度から本格的に設定された地域枠医学生の定員は年々増加し、一定の人数が臨床の現場に出始めています。地域枠の定員増から10年が経ち、文部科学省および厚生労働省にて、地域枠医学生の定員の見直しが進められ、令和4年度には新たな考え方に基づく地域枠医学生が制定される予定です。こうした時期に地域枠制度の効果を検証し、教育のあり方、キャリア構築のあり方等を見直し、新たな地域枠制度への対応を考えることが必要です。そこで今回はテーマを～地域枠制度がもたらしたもの～とし、意見交換を行いました。

現状や問題点について把握する良い機会になったのではないでしょうか。

ご参加いただきました方々、本当にありがとうございました。

ープログラムー

日　時 ： 2020年2月14日（金曜日）13:00～16:40
場　所 ： 一橋大学一橋講堂　（東京都千代田区一ツ橋）
参加費 ： 無料
参加者 ： 地域枠医学生に関する事象に携わる自治体・大学・学生・医療機関並びに
地域医療教育に興味のある方々、地域医療支援センター関係者など
司　会 ： 岡山　雅信（神戸大学大学院　地域医療教育学部門　特命教授）
嶽﨑　俊郎（鹿児島大学　離島へき地医療人育成センター　センター長）

～シンポジウム～

13:00　開会挨拶
鹿児島大学　離島へき地医療人育成センター　センター長　嶽﨑　敏郎
13:05　本会企画者　挨拶　開催趣旨説明
神戸大学大学院医学研究科　医学教育学分野地域医療教育学部門　特命教授　岡山　雅信
13:15　「全国の2019年度専攻医選択状況と離脱への対応」
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科　地域医療学分野　教授　大脇　哲洋
13:20　基調講演「地域枠の今後の展望」
厚生労働省　医政局医事課　課長補佐　扇屋　りん　様
14:00　休　憩
14:15　「地域枠の役割と効果について」
鹿児島県くらし保健福祉部　次長　中俣　和幸　先生
14:35　「岩手の地域医療を支える地域枠養成医師への期待」
岩手県保健福祉部医療政策室　医務課長　福士　昭　先生
14:55　「徳島県の地域枠医師の動向とへき地病院における地域枠受入れの現状について」
つるぎ町病院事業管理者　徳島県つるぎ町立半田病院　病院長　須藤　泰史　先生
15:15　「日本の国情・2次医療圏の実情解析から展開した地域枠制度の12年
―分野別認証評価・新専門医制度・働き方改革時代における生命線としての将来像―」
秋田大学大学院医学系研究科　医学教育学講座　教授　長谷川　仁志　先生
15:35　休　憩
15:45　討　論
16:40　終　了

司会

扇屋 りん　様

中俣 和幸　先生

福士 昭　様

須藤 泰史　先生

長谷川 仁志　先生

質疑応答

質疑応答